時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價遞送料は左の如し

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六拾錢○月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ）

時事新報遞送料

一	日本國內並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津	一箇月	金拾三錢
二	南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國	一箇月	金六拾錢
三	北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋	一箇月	金三拾錢
四	香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲	一箇月	金六拾五錢
五	露領浦潮斯德、清國諸港	一箇月	金三拾五錢

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐること寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に達したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

水道地祭式

東京市會にては水道工事の着手に付き水道起工地祭なるものを行ひ多數の賓客を招待して工事の現場を縱覽せしむるの議を決し不日執行の筈なりと云ふ誠に些細の事柄なれども我輩は市會の面目一新の兆候として同情を表せんとするものなり抑も市會とは市民を代表し一市に關する諸種の事を議するものにして平たく云へば東京市民一般の相談會に過ぎざるものなれば今の市制にて許す限りは如何なる事を議するも差支ある可らず府下の人事の多端なると共に議す可き事も亦多端なる可きに從來その會の趣を見れば法律權利の談頗る盛にして理事者に對して瑣々たる權限を爭ひ動もすれば他の揚足を取るなど見識に似たる無益の擧動少なからず先頃中水道鐵管の事件に就ても管に刻する文字とか紋形とか云ふ[illegible]喧嘩よりして參事會員の總辭職を促したるが如き即ち其一例にして我輩の餘所ながら苦がしく思ひたる所なるに然るに今回は前日の無粹なる擧動に反し同じ水道の事に關して斯る議決に及びたるを見れば市會の人々も自ら[illegible]みて聊か悟る所ありたるものと認めざるを得ず或は斯る事柄に市費を支出するは[illegible]なりとの異論もあるよしなれども或議員の言へる如く一個人の家を建つるにも棟上式又は地鎮祭を[illegible]て[illegible]を祝することあり水道工事の如き大事業に起工式行ふは[illegible]なり云々との說は實に市民の心を[illegible]なるものにして東京市民は斯る目出度き[illegible]僅かの金を惜しみ強いて社會を窮屈にして自から喜ぶ如き殺風景の人民に非ざるなり西洋文明の諸國にては都市の人民が其都市の名を以て有功有德の人に對して名譽の贈與を爲し又は外國の貴賓などを歡迎するの習慣あり法律權利の外に餘裕を存して自から文明市民たるの本色を見るに足ることなれども我國に於ては曾て是種の事例なきのみか先年米國の前大統領グラント將軍來遊の折、府下の有志者は府民總代の名を以て之を迎へんとしたるに一部の人々は名稱濫用云々の議を唱へて之に反對したることさへありたり今度の市會の決議は實に空前の思付にして其事は小なりと雖も思想の一變を徵するに足る可し聊か一言して同情を表し今後の望を屬するものなり

官報

○遞信省告示第二百二十四號

廣嶋縣下安藝郡吉浦村字狩留賀及同郡江田嶋村字先早瀨ノ沖ヘ設置ノ海底電信線浮標修繕中假浮標ヲ設置ス

明治二十六年九月三十日

遞信大臣伯爵黑田清隆

雜報

○四日目の全國商業會議所聯合會　去る二十八日は午前十時四十分開會出席員二十八名有志會員十名外に仁禮農商務屬及び兵庫縣屬二名臨塲せり山本議長は先づ書記をして

銀貨問題及本邦貨幣制度利害調査の件に對する調査報告

を朗讀せしむ右朗讀終りて調査委員中野武營氏（東京）は起て該報告の理由を縷々說明し夫より各員は質問討議に長時間を費し結局堀部勝四郞氏（名古屋）の說にて引續き本案第二讀會を開く事となり第二讀會に移るや佐久間貞一氏（東京）は調査報告第二項を「右に關する調査、順序、方法、費用其他に關する方案は東京、大坂、京都、神戶、名古屋の五會議所に托し脫稿の上は之を五會議所より各會議所へ通達する事」との意見に修正せんと述べ中村忠七氏（濱松）は各會議所は該問題を調査し其利害を研究する事、費用は五會議所の負擔とし只印刷其他の小經費は各會議所の負擔とする事、各會議所は五會議所の評決書類を議題とし適宜調査の上大坂へ報告する事とし其他は總て佐久間氏の說に贊成せり下田耕造氏（熊本）は中村氏の說を贊成するも其費用の點は別に動議として提出すべしと述べ調査委員の一人野村喜一郞氏（金澤）は調査委員の報告書に費用負擔方を明記せずと雖ども素より各地夫々事情等の異なるあるを以て假令費用を各會議所の負擔とするも決して甲乙同樣の額を負擔せしむるの精神にあらざれば此邊は安心ありたしと辯じ次に調査委員の早川智寬氏（仙臺）も野村氏の說を補ひ縷々陳述する處あり終て採決となり議長は第一項より第四項まで順次採決せしに中村氏の說は何れも少數にて否決し全く原案即ち調査委員の報告通り可決し夫より第二讀會の決議を以て確定議と見做すも差支なきや否やを滿塲に諮りしに異議なしとの說多數なりしかば遂に之を以て確定議を經たるものとなし茲に聯合會開會以來初めて一議案を議了せり次に議長は第二號議案棉花綿輸出入稅免除に關する調査委員の報告を議すべき旨を告げ書記をして該報告書を朗讀せしめたるが時恰も正午過なりしかば暫時休憩せり

午後一時二十五分開會第二號議案報告に付き調査委員中村榮助氏（京都）は說明する處あり二三の質問ありたる後早川智寬氏（仙臺）は此報告の綿密周到にして完全なるを謝し通過せんことを望み中野武營氏（東京）も同樣の意を述べ種々贊成同意ありて該案は拍手喝采の裡に通過したり依て議長は書記をして第一號議案を朗讀せしめ同案に關する議事に取掛りたり佐久間貞一氏（東京）は報告書の說明を爲し中野武營氏（東京）は條文中法律を用ひて之を撿束せんとするは不可なりと述べ之に對して佐久間氏は辯明する處ありしが中野氏は徹頭徹尾反對に立ち該案は不必用なり廢案すべしと迫り十二條の不當を主張し各國の例を引き自由放任の可なるを說たるに續々贊成する者あり早川氏は從來の儘にて差支なしとて該改正の尙早論を主唱し甲論乙駁遂に決を採るに及んで中野氏の廢案說は二十八名に對する十二名の少數を以て否決し原案に可決せり一讀會を終り暫時休憩の後第二讀會を開きたるが一二の修正ありたるまでにて原案に可決し第三讀會は翌日に讓ることゝなり之にて本會を閉ぢ夫れより酒造稅に關する協議會を開き說明員の說明あり次に棉花綿稅の件確定議となりしに付き愈よ其筋へ請願若くは建議するの手續方法期日を定むることを協議し遂に來る十月三十一日までに各會議所は該件を議決し各々東京會議所へ送附し同會議所は之を農商務大臣に呈出するの勞を執り貴衆兩院へ請願する等の事は各會議所隨意に其地の代議士に托して呈出することに協議纏り全く閉會せしは午後五時四十五分なり

○シカゴ博覽會　は近來冷氣を催し來れると米國內地諸鐵道會社に於て未曾有の大割引を爲したる爲め去る八月二十日頃より俄かに縱覽人の數を增し九月初旬の頃となりては每日三十萬人前後に及べり併し斯く見物人の增加せしにも拘はらず出品物は一般に不捌けにて只通路の雜踏するのみ就中本邦出品の如きは却つて五月下旬より六月中旬の頃の好景氣に及ばず何故に然るかと云ふに近頃の縱覽人は田舍漢多く汽車賃を大に割引したる爲め漸く見物するものなれば素通りの多き譯なり偖又陳列品中代價二三弗より十弗位までの十人向のものは大概賣約濟となり殘るは高價大形のものなり是も亦見物人の多きに割合して不景氣なる原因の一なるべしと

○殘品の仕末　本邦派出の事務員評議員渡航委員等は閉會後出品の善後策に付て過る頃より憂慮中なり大概の品は森村組及び林忠正氏の兩店へ依托販賣とすることに內決し去る八月二十九日にも出品人に其內意を相談せしに既に同意の趣を返答したる向きも少からず中央協會は右の相談に加はらず獨立して處置を研究すると云へど裏面は高木實造氏より關西貿易組合に賣捌方を依賴するとのこと

○喫茶店　に於て去る九月一日午後八時より本邦出品評論會の例會を開き演說者は工學士神田禮治氏獨逸人博士ライン氏なりし又同茶店の來客は近頃大に減じ毎日八九百名なるよし（以上三件九月二日シカゴ發通信）

○神苑會の計畫實行に就て　一昨日渡邊洪基、田中芳男、阿部[illegible]等の諸氏が宮內省に出頭して花房次官に面談する處ありし由前號の紙上に記しおきしが右は神

苑會の計畫實行とな
畫談一時其儘とな
廿八年四月三日の
なり扨は右數氏相

○德川邸の弔
しく病氣の處療養
六日午前七時三四
の中堂に於て葬儀
は元田安家と稱し
臣は殘らず定府な
し者もなく今に東
常の混雜なりと云

○依田今朝藏
三輪町線延長と共
へるが久しく時事
今朝藏氏は右に付
を主管することし
て副支配人として
出して同社を退
に金員を副へて同

○日本綿絲紡
次第に發達する
已に大坂の聯合
凡て五十箇所（內
會せざるは長崎、
遠からず加盟の手
（準會員を除く）に
錘なり其他工場新
ば茲一二年の間に
も達せん見込なん

○大坂株式取
於ける九月中の取
比すれば四萬三千
平均直段は下の如

	枚
九鐵株	二、〇五五
山陽株	三、八一五
關西株	一、一八〇
坂堺株	一五
毛紡株	五
商船株	二九五

○眞宗教導會
計るの目的を以て
小嶋町大谷教校に
會員を募集するよ
寺に於て其發會式
三氏の講談井上圓

○萬年青陳列
東京にて其他大坂
る者あり古來京都
はらず其嗜好する
ものを賣販し京
を愛翫するの傾き
雜居することゝ爲
りて價格も同じ
本元ともいふべき
り來月二十一日よ